



# ビートルコップ®

顆粒水和剤

農林水産省登録第21937号  
有効成分:チアメトキサム:25.0%  
毒物及び劇物取締法:非該当

包装:250g×10袋  
有効年限:4年

ビートルコップ顆粒水和剤の詳細情報・製品安全データシートはこちらから  
<http://www.syngenta.co.jp/golf/beetle/>

## 特長

- ◎芝への優れた浸透移行性及び食毒作用により、少量散布が可能です
- ◎長期残効型なので散布回数が減らせ、コース管理作業の効率がアップします
- ◎薬剤を取り込んだ幼虫は食害をすみやかに停止するのでターフが早く回復します
- ◎各種芝草(日本芝、西洋芝)に高い安全性を示します



## 適用害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む 農薬の総使用回数
芝	コガネムシ類幼虫	4000	1~2ℓ/m <sup>2</sup>	発生初期	3回以内	散布	3回以内
		400~800	0.1ℓ/m <sup>2</sup>				
		800~1600	0.2ℓ/m <sup>2</sup>				
	シバオサザウムシ成虫	2000	0.5ℓ/m <sup>2</sup>				
		4000	1ℓ/m <sup>2</sup>				
		シバオサザウムシ幼虫	400~800				
800~1600	0.2ℓ/m <sup>2</sup>						

## 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態、栽培器具及び散布方法に合わせて調節してください。
- 散布液は調製した日に使い切ってください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチ及びマルハナバチ等に対して影響があるので、以下のことに注意してください。
  - ① ミツバチ及びマルハナバチ等の巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
  - ② 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 本剤の散布液を調製した容器ならびに散布器具は使用後十分に水で洗浄してください。また、洗浄した廃液ならびにやむを得ず使い残した散布液は、河川などに影響がないように適切に処理してください。
- 使用後の空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けてください。

## 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。使用後は洗眼してください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 公園等で使用する場合には、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないように縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

## 貯蔵上の注意

- 保管の際には、使い残した薬剤は密閉し、食品と区別し、直射日光が当たらない低温な場所に密封して保管してください。



農林水産省登録第17009号  
有効成分:シハロトリン:5.0%  
毒物及び劇物取締法:劇物

包装:200g×10袋  
有効年限:4年

サイハロン水和剤の詳細情報・製品安全データシートはこちらから  
<http://www.syngenta.co.jp/golf/cyhalon/>

### 特長

- ◎シバツトガ・スジキリヨトウに対して速効的な効果が得られます
- ◎光に対して安定性が高く、一旦植物表面に吸着されると強い耐雨性を示します



### 適用害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	1m <sup>2</sup> 当り使用方法	シハロトリンを含む農薬の総使用回数
芝	シバツトガ	2000~3000倍	発生初期	3回以内	300m <sup>l</sup> 散布	3回以内
	スジキリヨトウ					

### 効果・薬害等の注意

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
  - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
  - ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
  - ③関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 本剤のみかん及び茶での散布は場合によってハダニ類が増加することがあるので注意してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けてください。

### 安全使用上の注意

- **医薬用外劇物**につき、取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。また散布液を吸い込んだり、浴びたりしないよう注意し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 本剤はのど、鼻、皮膚などを刺激する場合、また、かゆみを生ずる場合がありますので注意してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 摘果等の作業の際は、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
- 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

### 水産動植物に関する注意

- 水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼす恐れがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用は避けてください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

### 貯蔵上の注意

- 直射日光をさけ、鍵のかかるなるべく低温で、乾燥した場所に密封して保管してください。

# シンジェンタ アセルプリン®

農林水産省登録第23278号 包装: 100mℓ×6本  
有効成分: クロラントラニプロール: 18.4% 有効年限: 3年  
毒物及び劇物取締法: 非該当

シンジェンタアセルプリンの詳細情報・製品安全データシートはこちらから  
<http://www.syngenta.co.jp/golf/acelepryn/>

## 特長

- ◎優れた長期残効性を示し、薬剤散布の手間を軽減することができます
- ◎チョウ目に対し高い効果を示しますので、コース内の効率的な害虫対策にお役立ていただけます
- ◎芝や人畜への安全性が高く、臭いの心配もないため、安心してお使いいただけます



## 適用害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農薬の総使用回数
		薬量	希釈水量				
芝	スジキリヨトウ	20mℓ/10a	200ℓ/10a	発生前～発生初期	2回以内	散布	2回以内
	シバツトガ	30mℓ/10a	50～300ℓ/10a				
	タマヤナガ						
	コガネムシ類幼虫	50mℓ/10a	500ℓ/10a				
100mℓ/10a		200～1000ℓ/10a					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農薬の総使用回数
樹木類	ケムシ類	10000～20000倍	200～700ℓ/10a	発生前～発生初期	2回以内	散布	2回以内

## 効果・葉害等の注意

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液等アルカリ性薬剤との混用は避けてください。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- 過度の連用を避け、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせ使用してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようしてください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は異常気象時は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けてください。

## 安全使用上の注意

- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

## 水産動植物に関する注意

- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

## 貯蔵上の注意

- 直射日光を避け、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。



農林水産省登録第22050号  
有効成分:チアマトキサム:4.0%  
毒物及び劇物取締法:非該当

包装:60mL×10本  
有効年限:3年

アトラック液剤の詳細情報・製品安全データシートはこちらから  
<http://www.syngenta.co.jp/lm/products/atrack/>

### 特長

- ◎薬剤の飛散がなく、散布が難しい場面でも安心してご使用いただけます
- ◎薬剤が樹体内で速やかに分散し、長期間害虫防除効果が持続します



### 適用害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアマトキサムを含む農薬の総使用回数
さくら けやき	アメリカシロヒトリ	胸高直径(樹幹部) 6~10cm 30mL 11~15cm 60mL 16~20cm 90mL 21~25cm 120mL 26~30cm 180mL 30cm以上は胸高直径が5cm増すごとに30~60mLを増量する	幼虫発生前~幼虫発生前	3回以内	樹幹注入	3回以内
まつ	マツカレハ	同上	同上			
ヤシ	ヤシオオサゾウムシ	幹材積1m <sup>3</sup> 当り400~600mL	幼虫発生前			
デイゴ	デイゴヒメコバチ	胸高直径(樹幹部) 6~10cm 30~60mL 11~20cm 60~120mL 20cm以上は胸高直径が10cm増すごとに60~120mLを増量する	成虫発生前 又は虫えい形成期	3回以内	樹幹注入	3回以内
プラナタス	プラナタスグンバイ	胸高直径(樹幹部) 6~10cm 30mL 11~15cm 60mL 16~20cm 90mL 21~25cm 120mL 26~30cm 180mL 30cm以上は胸高直径が5cm増すごとに30~60mLを増量する	新葉展開後			

### ◆使用の目安

- ◇ 降雨時の使用は避け、できるだけ朝夕の涼しい時間帯に処理してください。
- ◇ ドリル等で斜め下方に孔径4mm~6mm程度の注入孔を開け、薬液が形成層に触れないように注意して注入容器のノズル先端を押し込み樹幹注入してください。さくら、まつ、プラナタス、けやき、デイゴに使用する場合、注入部位は地上高30cm~1mの樹幹、孔深は5cm程度とするが、分枝、剪定枝、節、瘤等の直下からの注入は薬液の分散が悪くなるのでさけてください。ヤシに使用する場合、注入部位は地上高50cm~1mの樹幹、孔深は10~20cmとし、注入部位に旧葉柄等が付着している際は取り除いてから樹幹注入してください。
- ◇ さくら・まつ・プラナタス・けやきに対する使用液量は、幹材積1m<sup>3</sup>当り400mLを標準としているので、矯正木や剪定木、胸高直径が30cmを超える大径木に使用の場合は、葉量、木の大きさ、枝張り等を勘案して適宜増減してください。
- ◇ デイゴに対する使用液量は、胸高直径に対する使用液量の範囲内で、矯正や剪定の有無、木の大きさ、枝張り、葉量等を勘案して適宜増減してください。
- ◇ 加圧注入する場合は、専用の注入容器を用いてください。
- ◇ 注入孔が複数となる場合は、樹幹の周辺に等間隔に分散させてください。
- ◇ 対象木が二股以上に分かれている場合、それぞれを1本の木とみなして所定量を処理してください。
- ◇ 注入が終了した孔は、雨水や雑菌等の浸入およびヤニ流出を防ぐため、癒合剤や木栓等で充填して適切に処置してください。

### 効果・葉害等の注意

- 必要量を購入し、使い切ってください。
- 他剤との混用はさけてください。
- 低温下(0℃以下)で保管した場合、沈殿が生じる可能性があるため、よく振ってから使用してください。
- 樹幹の胸高直径が6cm未満の小径木、移植後まもない木、空洞や腐朽部がある木、強剪定等で樹勢が弱った木、極端な老齢木への使用はさけてください。
- さくらに使用する場合、以下の項目を守ってください。
  - ①アメリカシロヒトリ幼虫発生前~幼虫発生前に時期を失ないように処理してください。②落花直後や展葉初期には薬液が分散しにくいので、葉が十分に展開してから処理してください。③花・葉・果実等を食用とするさくらには使用しないでください。④個体や品種によって葉変色や落葉の時期が通常よりも早くなることがあるので、当該木に連続して使用しないでください。
- まつのマツカレハ防除に使用する場合、幼虫発生前~幼虫発生前に時期を失ないように処理してください。
- けやきのアメリカシロヒトリ防除に使用する場合、幼虫発生前~幼虫発生前に時期を失ないように処理してください。
- ヤシに使用する場合、以下の項目を守ってください。
  - ①ヤシオオサゾウムシ幼虫発生前に時期を失ないように処理してください。②本剤の使用液量は、樹冠部の葉量に応じて、幹材積1m<sup>3</sup>当り400~600mlの範囲内で適宜増減してください。
- デイゴのデイゴヒメコバチ防除に使用する場合、成虫発生前又は虫えい形成期に時期を失ないように処理してください。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱およびその周辺にかけないよう注意してください。
- 本剤は自動車、壁等の塗装面、大理石や御影石等に薬液が付着すると変色する恐れがあるので、こぼさないよう注意してください。
- 本剤を河川、湖沼、海域および養魚池に廃棄しないでください。
- 空容器等は必ず回収し、環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては使用液量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合は、林業関係機関、林業技術者、病害虫防除所等関係機関などの指導を受けてください。

### 安全使用上の注意

- 誤飲などのないように注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。使用後は洗眼してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 作業の際は農業用マスク、保護眼鏡、ゴム手袋または耐油性手袋、長ズボン・長袖の作業衣等を着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や作業に関係ない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

### 貯蔵上の注意

- 火気や直射日光を避け、食品と区別して、なるべく冷涼で子供の手のとどかない場所に密栓して保管してください。



# ショットワン・ツー®

## 液剤

農林水産省登録第20238号  
有効成分:エマメクチン安息香酸塩:2.0%  
毒物及び劇物取締法:非該当

包装:60ml×10本  
有効年限:3年  
危険物:第4類第1石油類

ショットワン・ツー液剤の詳細情報・製品安全データシートはこちらから  
<http://www.syngenta.co.jp/lm/products/shot/>

### 特長

- ◎マツ材線虫病の原因であるマツノザイセンチュウに対して、高い殺線虫活性を示します
- ◎確実な防除効果が6年間持続し、マツノザイセンチュウによる松枯れから大切な松を守ります
- ◎注入孔径が小さく、孔数も少ないため、樹木への負担が少ない薬剤です
- ◎60ml単位の少量注入タイプの為、小さく軽く、作業性に優れます



### 適用害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エマメクチン安息香酸塩を含む 農薬の総使用回数
まつ (生立木)	マツノザイセンチュウ	胸高直径(樹幹部) 11~15cm 60ml 16~20cm 60~120ml 21~25cm 120~180ml 26~30cm 180~240ml 30cm以上は胸高直径が5cm 増すごとに60~120mlを増量する。	マツノマダラカミキリ 成虫発生2ヶ月前まで	1回	樹幹部に 注入孔をあけ、 注入器の先端を 押し込み 樹幹注入する。	1回

### ◆使用の目安

- ◇ 本剤の注入は、晴天の日を選び日中に行ってください。
- ◇ 薬剤注入孔は、直径6~7mmのドリルで地上1m前後の樹幹部に、大きな節や瘤を避けて斜め下方に向けて深さ4~5cm程度の孔を開けてください。
- ◇ 注入孔を開けたら直ちに薬剤容器の先端部を折取り、薬液が漏れないように深く孔にねじ込み、容器の底の凹部を上に向け、目打ちで穴を開けて薬液を注入してください。
- ◇ 薬液がまつ形成層に触れないように作業時に十分注意してください。
- ◇ 一樹に複数本の薬剤を使用する場合は、注入孔を樹幹の周辺に等間隔に分散させてください。
- ◇ 薬剤注入量は、樹幹の胸高直径の大きさによって増減してください。
- ◇ 注入が終了した孔は、癒合剤や木栓などで充填し、雨水や雑菌などが侵入しないように処置してください。
- ◇ 注入終了までに要する時間は、樹齡、樹勢によって異なるので注意してください。早いもので通常1時間以内、遅いものでも3時間程度で完了します。

### 効果・薬害等の注意

- 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきってください。
- 本剤注入後、薬液が樹全体に移行するのに、若い木や樹勢の旺盛なものは1ヵ月、大径木や樹勢の弱った木などは約2ヵ月を要するので、本剤の注入はマツノマダラカミキリの発生する2ヵ月前までに行ってください。
- 本剤のマツノザイセンチュウに対する効果持続期間は通常6年ですが、樹勢、樹齡、枝張り、周辺環境、気象条件などにより変動するので、再注入時期については林業関係機関、林業技術者などの指導を受けてください。
- 本剤は樹脂流出に異常を呈しているまつや枝葉が変色したまつには治療効果がないので、注入時期を失しないようにしてください。
- 矯正されたまつ、また移植後まもないまつなどは樹勢が弱いため使用を避けてください。
- 薬剤が完全に注入されたことを確認後、空容器は必ず回収し、環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 公園、街路などで使用する場合は、作業員以外の者、特に子供などの手の届かぬ位置に注入し、注入中は作業現場に近づかないように縄囲いや立て札を立てるなど配慮してください。
- 本剤は自動車、壁などの塗装面に注入剤が付着すると変色する恐れがあるのでこぼさないように注意してください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、林業関係機関、林業技術者などの指導を受けてください。

### 安全使用上の注意

- 誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、注入の際は保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。使用後は洗眼してください。

### 水産動植物に関する注意

- 水産動植物(甲殻類、藻類)に影響を及ぼす恐れがありますが、この登録に係る使用方法では問題ありません。
- 空容器は必ず回収し、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

### 貯蔵上の注意

- 火気や直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。